

鳥獣の被害対策

アライグマの生息数低減を目指す！！

～益田市でのアライグマの効率的な捕獲体制の構築を目指して～

研究の背景・目的

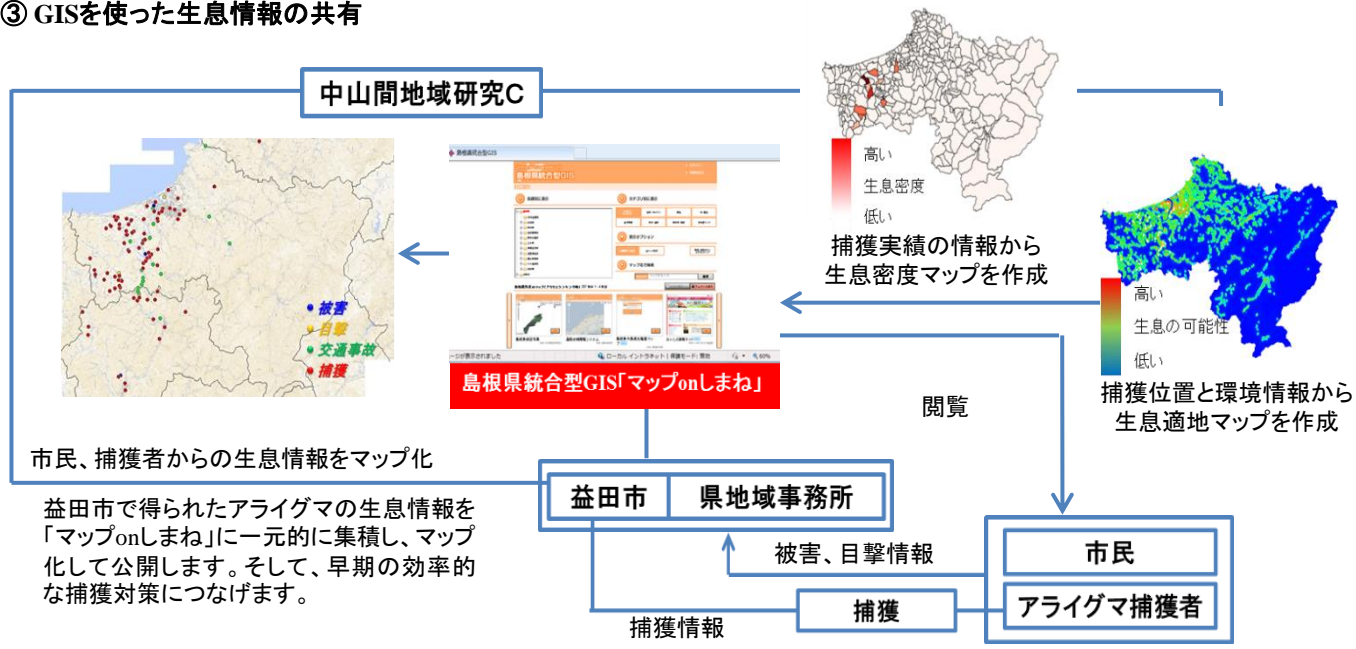
鳥根県でのアライグマは平成21年度以降、益田市を中心に捕獲数が増加しています。しかし、捕獲対策では錯誤捕獲が障害となっており、錯誤捕獲を低減できる新たな捕獲ワナの開発や一層の捕獲圧を掛けるための新たな捕獲技術の確立が必要となっています。アライグマは年間の増加率が50%にも達するほど繁殖力が高いことから、生息数が少ないうちの捕獲が経済的、労力的に効率が高く、その対策は極めて緊急性が高いものとなっています。



研究方法

- ①アライグマ以外の動物が誤って捕獲される「錯誤捕獲」が多いことから、アライグマを飼育して（注1）、捕獲ワナを開発します。また、効率的に誘引できて、捕獲効率の向上が期待できる誘引餌の検索を行います。
- ②アライグマに電波発信器を装着して、利用頻度の高い場所やねぐらなどの効率的な捕獲場所を明らかにします。
- ③益田市での生息情報を共有できるように、被害や目撃などの生息情報をマップ化（鳥根県統合型GIS「マップonしまね」）して配信できるネットワークを構築します。

③ GISを使った生息情報の共有



注1：当センターのアライグマは学術研究を目的に、環境省の認可を受けて飼養しています。特定外来生物であるアライグマの愛玩目的での飼養は禁止されており、その他の目的の場合、環境省の飼養許可が必要です。

研究成果の活用・今後の研究計画

益田市でのアライグマの生息数が低減することによって、被害リスクを低減できると共に、周辺自治体への分布拡大による高密度化を抑制することができます。また、益田市でのアライグマの生息数の低減を図るための技術マニュアルを作成して、他市町でのアライグマ対策の初動対応に役立てます。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
鳥根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 鳥根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 鳥獣対策科

研究担当者 : 菅野 泰弘 (すがの やすひろ)

問い合わせ先 : 0854-76-3819

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 益田市でのアライグマの生息数低減への成功モデルの構築 (研究期間 : H26~28年度)

